

ふくい社会福祉

2023
9
No.462

Fukui Social Welfare



9月は「ボランティア月間」

新型コロナウイルス感染症の5類移行後、県内の福祉施設にもボランティアの活動が戻ってきています。鯖江市の光道園では8月中旬、県内高校生4人が夏祭りの準備や縁日コーナーのスタッフとして活躍。福井県ボランティアセンターマスコットキャラクターの「ランティー」も駆け付け、利用者の皆さんとふれあいました。



CONTENTS

2P 報告

- ◆ 食料支援事業「TABETENO(たべての)」を実施

3P 案内

- ◆ 10月1日より共同募金運動が始まります

4P

- 連載「みんなdeつながろう!」vol.4
- ◆ Compath(コンパス)

5P 報告

- ◆ ふくいチャリティー・アート展 御礼と終了のご報告

6P 報告

- ◆ 子ども食堂等助成および福井県まごころ基金助成団体決定
- ◆ 寄付・寄贈

7P 募集

- ◆ 「ふくい就職フェア」のご案内
- ◆ 介護入門研修・「ちょこっと就労」参加者募集!

8P 募集

- ◆ ラジオ講座「いきいきライフ」川柳コンテスト作品募集 広告
- ◆ ボランティア活動保険

9P 報告

- ◆ 福井商業高校の生徒が就業体験
- ◆ 福井県社会福祉協議会役員紹介

10P 案内

- ◆ 第70回福井県社会福祉大会開催のお知らせ 報告
- ◆ 嶺南支所に保育専門コーディネーターを配置
- ◆ 勝山市で災害ボランティアセンター開設



食料支援事業「TABETTENO」を実施 食料品セットを無料配布

県社協では6月24日(土)、福井県企業等ボランティア・社会貢献連絡会(以下「Fパネット」と)の共催で、県内の子ども食堂やひとり親家庭などを対象に、「TABETTENO(たべての)」と銘打った食料支援事業を実施しました。



食料品セットを積み込むボランティアたち

季節性インフルエンザと同等の5類に移行。人々の日常生活がコロナ禍前の状態に戻りつつある中、地域でのつながりづくりの必要性が改めて高まっています。

今回の取り組みは、こうした背景を踏まえ、地域における居場所づくりに取り組み子ども食堂や孤立化しやすいひとり親家庭等への食料支援を通じて、つながりの再構築を図ることが目的です。Fパネットの会員企業等の関係者が、ボランティアとして参加することを通じて、社会貢献のあり方を考えるきっかけにしてもらいたいとのねらいもありました。

企業や学生が協力

当日は、県社協役員に加え、Fパネットの会員企業・団体の関係者、福井工業大学の柔道部員、福井県立大学、科学技術高校の学生と生徒ら約50人が、ボランティアとして参加。受付係や誘導係、運搬係に分かれて、食料品セットを配布しました。



当会の小藤幸男会長から激励を受けるボランティアたち

食料品セットは、レトルト食品やカップ麺などが段ボール箱に詰め合わされておき、東海地方を中心に食料支援活動を展開している特定非営利活動法人「フードバンク愛知」の協力で1000セットを用意しました。コロナ禍の余波に加え、相次ぐ値上げの影響を受けているところも多かっただけに、配布した約30団体と個人80世帯に喜んでいただくことができました。

新たな支援活動の契機に

本会では、ひとりも取り残されることのない地域共生社会の実現をめざし、引き続き多様な取り組みを推進するとともに、今回の活動を地域づくりのための新たな支援活動を展開するきっかけにしたいと考えています。



搬入された食料品セット



詰め合わされた食料品

10月1日より共同募金運動が始まります。

ご協力をお願いします

赤い羽根共同募金とは…

- 共同募金はじぶんの町を良くする募金です。
- お年寄りや障がいのある人、子ども達やその親など、助けを必要としている方々のために役立てられます。
- 災害の時は、災害ボランティアの支援に役立てられます。



福井県の目標額

一般共同募金	110,161,000円
地域歳末たすけあい募金	24,207,000円
NHK歳末たすけあい募金	8,000,000円
合 計	142,368,000円

災害時の準備金

被災地で災害ボランティアを支援する活動に
4,200千円

NHK歳末たすけあい

年末に行う高齢者、障がい者、子育ての支援に
8,000千円

ふくいを良くする活動

広域的な活動を行うボランティア団体やNPO、福祉団体の活動に
38,300千円

高齢者サロン



生活にはりができ健康になりました

じぶんの町を良くする活動

市町の福祉活動の支援や福祉のまちづくりを行う社会福祉協議会の活動に
67,661千円



障がい者の就労支援

自分の仕事に誇りを持ち、自信となり、日々の作業の励みになっています。

地域歳末たすけあい

年末年始に行う高齢者、障がい者、子育ての支援に
24,207千円

赤い羽根募金のつかいみち
赤い羽根データベース
はねっと



<https://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/homePr ef?data.prefCd=0018>

赤い羽根アプリは下のQRコードからダウンロードできます。



赤い羽根アプリ

<https://www.akaihane-appli.com>

あなたもトクして、
福井のまちが良くなる
赤い羽根アプリが
できました。

赤い羽根アプリの特長

- ★スマホからカンタン寄付
- ★応援したい町や分野に寄付
- ★クーポンでお得なお買い物
- ★しっかり税制優遇の領収書
- ★いままでの募金を一目で管理

ありがとうのメッセージ

越前市「みんなの食堂」実行委員会

定時制高校で頑張る生徒たちにおにぎりとスープを届ける活動をしています。単に食を提供する活動ではなく、それをきっかけにお腹と心を満たし、学校の中でほっとできる居場所になることを目指します。

小さな困りごと、ポロっとこぼしてくれると嬉しいと思います。そしてスタッフも彼らとの時間を楽しませていただこうと思います。

たくさんの応援、必ずおにぎりに込めます。ありがとうございました。



募金の
お問い合わせ

社会福祉法人福井県共同募金会 もしくはお住まいの市町の共同募金委員会へ
〒910-0026 福井市光陽2丁目3-22 TEL:0776-22-1657 FAX:0776-22-3093

みんなde つながろう!

このコーナーでは、県内の福祉活動に取り組みられる皆様をご紹介します。

Vol. 4

第4回は坂井市で活動中の、「一般社団法人Compath（コンパス）」です。
一般社団法人Compathは、今年度「まごころ基金」の助成を受けられました。（6頁参照）

Q 「Compath」はどのような経緯で結成されましたか。

A 当団体は、地域に様々な課題がある中、主に歴史や文化・自然などの地域資源を活用し、観光・教育・産業・文化振興を通じて新たな賑わいの創出を生み出し、福祉の増進を図っていく団体です。

元々は、様々な地域活動やボランティアなどに参加する若者4人が発起人となり2021年に設立しました。公に頼り切る姿勢ではなく、各メンバーの熱い思いと得意分野を活かした運営を心がけており、民の力

を発揮し、地域社会に今後も求められる課題に果敢に挑戦していくことを信条に日々活動しています。



海岸清掃活動に取り組むCompathの皆さん

Q これまでの活動や現在取り組まれている活動を教えてください。

A ここ2年間は、主に海岸清掃や自然環境活用、観光地整備に関する事業を実施してきました。その中で、ユニバーサルデザインの取り組みが全国的にも遅れている現状を目の当たりにしました。そこで、こうした課題の解決に向け、安心してお出かけが楽しめる福井県内のお出かけスポット情報を募集し表彰する「ふくいユニバーサルツーリズムアワード（FUTA）」を実施しています。ユニバーサルツーリズムに特化したものとしては日本初、日本唯一のアワードです。

それに加え、エントリーの内容（バリアフリー情報）を周知するため、

昨年「福井の観光バリアフリーポータルサイト（みんバリ）」を開設しました。



福井の観光バリアフリーポータルサイト(<https://minbari-fukui.jp>)

Q 今後の目標は？

A 高年齢者や障害のある方が安心して外出（旅行や観光など）できるスポット情報の整備を進めています。福井県から生まれたこの取り組みが全国に広がり、誰もが楽しめる環境整備が全国各地に進んでいくことを期待しています。

今後は、「FUTA」と「みんバリ」をさらに良いものにさせていく中で、「諦めていた夢を叶えるツアー」と銘打ち、障がいのある方の社会参加促進に資する次の一手を打ちます。そして福井県内におけるユニバーサルデザインを推進するとともに、幅広い世代や地域に福祉増

進の機運を高める、インパクトのある取り組みに挑戦していきたいと考えます。
最終的には、すべての人がお互いの人権や尊厳を大切にし、支え合い、誰もが生き生きとした人生を送ることができる社会、「誰一人置き去りにしない社会」の実現を目指していきたいと思っています。



夢を叶えるツアー「海釣りコース」

「ふくいユニバーサルツーリズムアワード2023」 エントリー大募集!

「ふくいユニバーサルツーリズムアワードとは？」

「幸福度日本一のふくい」の継続、「誰もが主役のふくい」の実現のため、みんなの想いや声をもとに、やさしい観光地への環境整備を目指します。安心してお出かけが楽しめる福井県内のお出かけスポット情報を募集し、募集内容を審査し表彰するアワードです。

エントリー期間

10月31日(火)まで

詳しくは、こちらにアクセス

<https://minbari-fukui.jp/2023/06/27/futa2023-entry-download/>

エントリーフォーム



ふるって応募ください!

11年間のありがとう...未来を支える子どもたちのために

ふくいチャリティー・アート展

御礼と終了のご報告展



福井県にゆかりのある芸術家や著名人の方々のご協賛のもと、作品を希望者に頒布し、その収益を福祉課題の解決に活用することを目的に毎年開催してきた「ふくいチャリティー・アート展」については、所期の目標を達成したことをふまえ、今年終了させていただくこととなりました。

この事業では、平成24年度から令和4年度までに延べ1,157名の協賛者の方々に計1,486点もの作品をご提供いただきました。長年にわたるご篤志に厚くお礼申し上げます。また会場へ足をお運びいただいた皆様に深く感謝いたします。今後子どもたちへの支援を継続するため、「子ども未来応援バンク」を受け入れ窓口として、皆様からのご寄付により、さまざまな取組を進めてまいります。

11年のあゆみ



2013.3.1 オープニングセレモニー



会場では「くらふとくらぶ」の協力を得て、障がいのある方の作品展も行いました。



福井放送会館、アオッサ、ハビリンなどを会場に延べ3,000人余りの方にご来場いただきました。

これまでに協賛いただいた作品総数

年度	数	年度	数
H24	181	H30	114
H25	163	R 1	97
H26	181	R 2	101
H27	150	R 3	119
H28	140	R 4	96
H29	144	計	1,486

- 2012
- 2013
- 2014
- 2015
- 2016
- 2017
- 2018
- 2019
- 2020
- 2021
- 2022

協賛いただいた皆様、ご来場いただいた皆様、長い間本当にありがとうございました。

「子ども未来応援バンク」は、現金・物品・招待などの企業・団体・県民の皆様からいただいたご寄付を、本会が県内の子どもたちが安心して生活

今後は、当会が設置する「子ども未来応援バンク」を窓口として広く県民からの寄付により、子どもたちへ必要な支援を続けていきます。

できる環境を整える事業に役立つ仕組みとして、令和4年度に創設しました。ご寄付は、本会が実施している「子ども未来支援事業」に充当し、養護児童の就職に必要な技能取得・進学に伴う費用や「子ども食堂」の立ち上げ経費の助成、運営団体の活動支援などに活用させていただきます。



福祉車両「チャリティーアート号」寄贈

障がい児通所事業所・入所施設へスロープ付き軽自動車2台を寄贈



児童養護施設退所者の進学・就職支援

「子ども未来支援事業」として児童養護施設退所者および里親のもとで生活する子どもを対象に、学費や資格取得費用等を助成いたしました。

助成実績		内 訳	
975万円		進学にかかる授業料(4名)	110万円
助成先		免許取得費用(43名)	738万円
児童養護施設退所者	55名	就職準備金(11名)	77万円
里親委託児童	5名	進学準備金(2名)	50万円

作品の収益は子どもたちを支える事業に活用させていただきました

令和5年度

子ども未来支援事業「子ども食堂等への助成」 および

決定

令和5年度
(第33回)

福井県まごころ基金助成事業助成団体

去る7月11日(火)に、子ども未来支援事業「子ども食堂等への助成」および福井県まごころ基金助成事業の交付式が行われました。

子ども未来支援事業「子ども食堂等への助成」は、松原ふれあい基金や子ども未来応援バンクを活用し、地域における子どもの健やかな育ちのため、子どもの居場所づくりに取り組む団体や社会的養護児童の自立支援に対して助成するもので、そのうち、子ども食堂等の立ち上げ助成として、平成28年度から昨年度までに、計14団体に助成を行ってまいりました。今年度は、2団体に各



200,000円の助成を決定しました。

「福井県まごころ基金」助成事業は、県内篤志家からの寄付金を運用し、県内の民間福祉団体等が実施する様々な社会福祉活動等に対して支援を行うことで県内の地域福祉を推進するもので、平成3年以来、のべ984団体に対して合計1億7千万円を超える助成を行ってまいりました。今年度は、11団体に対して合計2,646,000円の助成を決定しました。



令和5年度 子ども未来支援事業「子ども食堂への助成」助成団体

	助成団体名	活動地域
1	なないろてんとむし	福井市
2	越前表現あそび研究会	越前市



令和5年度(第33回) 福井県まごころ基金助成事業助成団体

	助成区分	助成団体数	助成団体名
通常助成枠	子ども(高校生以下)の福祉向上を通じた取組	2団体	特定非営利活動法人ふくい科学学園 認定NPO法人福井県子どもNPOセンター
	高齢者の福祉向上を通じた取組	2団体	オレンジカフェ カナリア 特定非営利活動法人福祉医療等連携交流協会
	障がい者(児)の福祉向上を通じた取組	1団体	自閉症eサービス@ふくい
チャレンジテーマ枠	子どもの貧困・貧困の連鎖をなくすための取組	1団体	特定非営利活動法人かさじぞう
	障がい者の社会参加促進	4団体	一般社団法人Compath 特定非営利活動法人福井県手をつなぐ育成会 「みんなで舞台上に立つ」を広げる会 HAPPY DREAM ふくい
	災害時福祉救援体制づくり	1団体	あわら市防災士の会

寄付 寄贈

心温まる寄付・寄贈に
心から感謝申し上げます
皆様の善意は有効に
活用させていただきます

♥7月13日

- 寄贈者 福井信用金庫 様
●おやさいクレヨン 84個
- 寄贈先 放課後等デイサービス
事業所



♥7月18日

- 寄贈者 匿名の方(福井市在住)
●1リットル牛乳 12本
- 寄贈先 福井県総合福祉相談所



♥8月25日

- 寄付者 株式会社 平和堂 様
●寄付金 393,696円
- 寄付先 福井県社会福祉協議会
「子ども未来応援バンク」



「ふくい福祉就職フェア」のご案内

福井県福祉人材センター・保育人材センターおよび嶺南福祉人材バンク無料職業紹介所による、「ふくい福祉就職フェア」を開催します。

フェアでは、福祉施設等の担当者から施設の魅力や採用に関する情報を直接聞くことができます。福祉の仕事に就きたい方、資格はないが福祉の仕事に興味のある方など、どなたでもご来場いただけます。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

●日時・会場

嶺北会場	日時 ▶ 令和5年11月3日(金・祝)
	<ul style="list-style-type: none"> ●オンライン職場見学会(高齢者施設および障がい者施設) 12:30~13:30 ●職場説明・面談会(児童・障がい者・高齢者分野) 13:30~15:00 <small>※児童分野は嶺南地域の法人を含みます。</small>
	会場 ▶ 福井県産業会館 本館2階「本館展示場」(福井市下六条町103番地)
嶺南会場	日時 ▶ 令和5年11月8日(水)
	<ul style="list-style-type: none"> ●オンライン職場見学会(高齢者施設および障がい者施設) 14:30~15:00 ●職場説明・面談会(児童・障がい者・高齢者分野) 14:30~16:00
	会場 ▶ 小浜市総合福祉センター「多目的ホール・研修室」(小浜市遠敷84-3-4)



- 参加予定事業所 県内で社会福祉施設を運営している法人等
 嶺北会場…60法人 嶺南会場…10法人 (予定)
※参加事業所は、本会ホームページにて10月上旬よりご覧いただけます。
- ・感染症拡大防止のため、マスク着用でのご来場をお願いします。
 - ・自然災害等、やむを得ない事情にて本フェアを延期・中止する場合がございます。



【問合せ先】 <嶺北会場> 福井県福祉人材センター・保育人材センター TEL.0776-28-3180
 <嶺南会場> 嶺南福祉人材バンク無料職業紹介所 TEL.0770-52-7833

「介護に関する入門的研修」参加者募集！ ～あなたも「介護」の基本的な知識を学んでみませんか？～

地区	福井	坂井・あわら	奥越	丹南	二州	若狭
日時	11月10日(金)	11月17日(金)	11月9日(木)	11月16日(木)	11月14日(火)	11月8日(水)
	10:15~14:30 (※研修終了後、希望者は「ちょこっと就労」就職面談会に参加できます。)					
会場	福井県 社会福祉センター	ゆりの里公園 ユリウム春江	結とぴあ	サンドーム福井	敦賀市福祉総合センター あいあいプラザ	小浜市総合福祉センター サン・サンホーム小浜
定員	30名	15名	10名	25名	10名	10名

- 内 容 <介護に関する基礎知識> ○介護に関する相談先 ○介護保険制度の概要
 ○介護休業や仕事と介護の両立支援制度
 <介護の基本> ○介護における安全・安楽な体の動かし方
 ○介護・認知症予防のための体操の紹介 他

- 参加対象 介護に関心をもつ介護未経験者(一般求職者・在宅介護者・主婦・高齢者など)
 ●申込方法 電話(0776-28-3180)にてお申し込みください。(各地区7日前までにお申し込みください。)



「ちょこっと就労」参加者募集中！

高齢者の方々が暮らす介護施設では、介護以外にも配膳や清掃など、暮らしにまつわる多くの業務があります。そこで、あなたのすき間時間で、日数や時間を柔軟に調整しながら働いていただくのが「ちょこっと就労」です。

入門的研修終了後、「ちょこっと就労」就職面談会を全会場で行います。身近な地域の求人事業所の方から、職場の雰囲気やお仕事の内容、実際に「ちょこっと就労」で働いている方の様子などをお聞きいただけます。
事前申込は不要ですので、関心のある方はぜひご参加ください！

14:30~16:00 (入退場自由)

ラジオ講座 いきいきライフ

川柳コンテスト 作品募集

ラジオ講座「いきいきライフ」では「自慢」をテーマとした川柳を募集します。

応募条件

作品は未発表のもので、一人二句まで応募できます。

応募締切：11月30日(木)

- 応募作品の中から優秀作品を五句を選び、令和6年3月3日(日) 放送のラジオ講座「いきいきライフ」で発表します。
- 作品が選ばれた方は、3月に開催する「いきいきライフ」の公開講座にご招待します。併せて表彰を行い、2,000円の図書カードを進呈します。

応募方法

- 郵送、FAX、メールのいずれかで応募してください。
- 応募される方のお名前、お名前のふりがな、ご住所、電話番号、ご年齢を記載してください。

応募・問い合わせ先

福井県社会福祉協議会 地域福祉課「川柳コンテスト」係

〒910-8516 福井市光陽2丁目3-22

TEL 0776-24-2433 FAX 0776-24-0041

E-mail : sukoyaka@f-shakyo.or.jp



ラジオ講座
「いきいきライフ」

ラジオやインターネットを通じて、時事、社会、文化、娯楽、健康、医療、福祉など各界で活躍されている方のお話を毎週聞くことができます。シニア期の暮らしに必要なテーマをシリーズで放送する「学び強化月間」も定期的に設けています。

FBCラジオ 毎週日曜日6:30~7:00 放送、毎週土曜日17:15~17:45 再放送
(嶺北AM864kHz・FM94.6MHz/嶺南AM1557kHz・FM93.6MHz)

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和5年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
コチラから
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料 (1名あたり)

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円			
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)			
	入院保険金日額		6,500円			
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円		
		外来の手術		32,500円		
	通院保険金日額		4,000円			
賠償責任の補償	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)			初日から補償	
	地震・噴火・津波による死傷		×	○	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)			
年間保険料			350円	500円	550円	

*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
〈保険会社〉 TEL:03(3349)5137
受付時間：平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667
受付時間：平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

福井商業高校の生徒が就業体験

福井商業高校の生徒4人が6月下旬、インターンシップ（就業体験）として県社協の業務体験と、社会福祉事業の意義などを学びました。

これまでも同校が実施するインターンシップに協力しており、昨年度まではコロナ禍で中止を余儀なくされていましたが、今回4年ぶりの受け入れとなりました。

生徒たちは、社会福祉協議会の概要と役割などについて説明を受けた後、業務の一部を体験しました。初日は、さまざまな案内文書の発送をはじめ、事務作業を中心に体験。2日目はタイから来日した介護技能実習生の入国後講習を見学したほか、福井県社会福祉センター内の福井県ろうあ協会も訪問しました。最終日には、前述したタイの技能実習生たちに福井を紹介する教材を制作、発表もして四季折々の福井の魅力をアピールしました。

就業体験を終えた生徒たちは「タイの技能実習生たちとしゃべったり、（実習の様子を）見学したりして、介護福祉関係の仕事に興味を持ちました。将来介護福祉のような仕事に就いて、利用者さんを笑顔にできるようにになりたいと思いました」「初めての経験とか知識とかが多くあったので、これからも視野を広くして将来のことを考えていきたいと思いました」などと話していました。



タイの介護技能実習生たちに福井を紹介する福井商業高校の生徒たち

福井県社会福祉協議会役員紹介

（令和5年8月21日現在）

No.	役職	氏名	母体役職等	区分
1	会長	小藤 幸男	福井放送(株)相談役	学識経験等
2	副会長	伊藤 靖朗	元 青少年育成福井県民会議副会長	学識経験等
3	副会長	山岸 博之	小浜市社会福祉協議会理事長	社協
4	副会長	稲山 幹夫	福井県中小企業団体中央会長	学識経験等
5	専務理事	土屋 秀樹	元 福井県健康福祉部副部長	学識経験等
6	理事	田原 薫	福井県社会福祉法人経営者協議会長	社会福祉施設
7	理事	玉前 晃	福井県民間保育連盟会長	社会福祉施設
8	理事	小川 弥仁	福井県老人福祉施設協議会長	社会福祉施設
9	理事	大島 友治	福井県民生委員児童委員協議会長	民生委員児童委員
10	理事	野坂 鐵郎	福井市社会福祉協議会長	社協
11	理事	福田 洋一郎	大野市社会福祉協議会長	社協
12	理事	福田 修治	越前市社会福祉協議会長	社協
13	理事	前波 茂樹	(株)福井銀行執行役	学識経験等
14	理事	平等 智恵	福井県母子寡婦福祉連合会長	学識経験等
15	理事	橋本 輝男	福井県身体障害者福祉連合会長	学識経験等
16	理事	清水 則明	福井商工会議所副会頭	学識経験等
17	理事	池上 栄志	福井県健康福祉部長	学識経験等
18	監事	西村 重稀	仁愛大学名誉教授	学識経験等
19	監事	打方 勇治	山崎総合事務所副所長	学識経験等

【任期】 令和7年度定時評議員会の終結時まで

第70回福井県社会福祉大会開催のお知らせ

日時 令和5年11月11日(土) 13:30~16:00

会場 福井県生活学習館 (ユー・アイふくい)

内容
(予定)

①表彰式 (13:30~)

●福井県社会福祉協議会会長表彰 ●福井県共同募金会会長表彰 ●70回大会特別表彰 他

②記念講演 (14:50~16:00)

被表彰者以外の福祉関係者や、
一般県民の方は記念講演のみ参加も可能です!

記念講演



テーマ 「子どもと大人のパートナーシップ時代
~子ども参加の地域づくり~」

講師 尾木 直樹氏 [教育評論家/法政大学名誉教授/臨床教育研究所「虹」所長]

《講師プロフィール》

滋賀県生まれ。中高の教師として、22年間子どもを主役としたユニークで創造的な教育実践を展開、その後法政大学教授など22年間大学教育に携わる。「尾木ママ」の愛称で親しまれ、フジテレビ「めざまし8」、日本テレビ「真相報道バンキシャ!」など多数のテレビ番組で活躍中。

【問合せ先】 福井県社会福祉協議会 総務企画課 社会福祉大会担当
TEL : 0776-24-2339 E-mail : somu@f-shakyo.or.jp
ホームページ : <https://www.f-shakyo.or.jp/>



70回大会記念として、
会場では子どもたちの夢あふれる
メッセージを集めたパネル展も行い
ます。多くの皆様のご来場を
お待ちしております。

福井県保育人材センターからのお知らせ ~嶺南支所に保育専門コーディネーターを配置しました~

8月1日から嶺南支所に保育専門のコーディネーターを配置しました。保育士の皆さんの就職や悩みごとなどの相談を受け、安心して働き続けていくことができるように支援するとともに、保育所などの求人情報の収集や就職あっせんなど再就職をお手伝いします。

ぜひ、お気軽にお問合せください。

開所(在籍)日 毎週火・水曜日(祝日、年末年始を除く)

※移動相談会は、毎月第3火曜(10~12時)ハローワーク敦賀にて開催

相談受付時間 9時~17時



【問合せ先】 福井県社会福祉協議会 嶺南支所 小浜市小浜白鬚112(白鬚再開発ビル3F) TEL : 0770-52-7833

勝山市で災害ボランティアセンター開設

7月中旬の大雨により、嶺北各地で土砂崩れや家屋への浸水被害などが相次ぎました。

家屋への浸水被害が最も多かった勝山市では、市福祉健康センター「すこやか」に災害ボランティアセンター(以下「災害VC」)が開設されました。閉所までの3日間で市内外から延べ158人のボランティアが参加し、被災家屋の泥のかき出しなどの支援に当たりました。

勝山市では昨年8月の大雨でも災害VCが開設されており、当時の経験を生かして勝山青年会議所をはじめ災害VC連絡会の構成団体が連携して体制を整えました。また、県社協と近隣の犬伏、坂井、福井の各市社協からも延べ12人の職員を派遣し、災害VCの運営を支援しました。勝山市社協は、災害VCの閉所後も通常のボランティアセンターに業務を移行して、被災した住民からの相談に引き続き対応しました。



市内外から集まったボランティア